

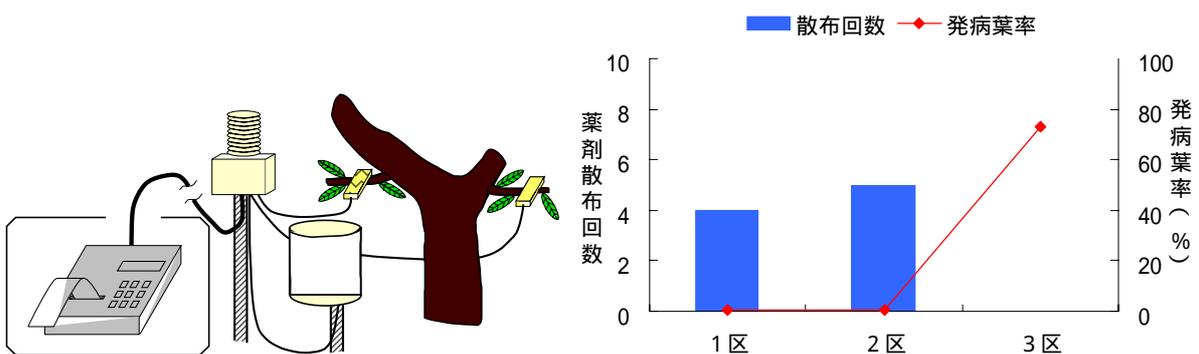
# リンゴ黒星病防除における 感染予察機（メトス - D）の活用法

## 研究のねらい

リンゴ黒星病は潜伏期間が長く、発病してからの防除では手遅れである。そこで、本病の感染予察機メトス - D の情報を活用した効率的な防除法を開発する。

## 研究の成果

メトス - D は、リンゴ葉の濡れ時間と気温を測定し、黒星病の感染程度（軽度、中程度、重度）を表示する機械である（第 1 図）。黒星病に治療的効果のある E B I 剤は、感染後約 5 日以内に散布すると高い効果を発現することから、メトス - D の警報表示後でも防除が可能になった。このことにより、E B I 剤を効果的に使用することができ、本病の多発を未然に防ぐことができるようになった。



第 1 図 メトス - D の模式図

- ：予察機本体
- ：センサーステーション
- ：降水量計
- ：葉濡れセンサー

第 2 図 メトス - D 利用による防除効果

- 1 区：警報表示 3 日後 E B I 剤散布
- 2 区：慣行散布
- 3 区：殺菌剤無散布

## 発表資料

- 1 . 新谷潤一（1995）. メトス - D 利用による黒星病の防除 . りんご技術 47 : 17 - 18 .
- 2 . 新谷潤一（1996）. 感染予察機 “ M E T O S - D ” による青森県でのリンゴ黒星病の感染予測防除 . 植物防疫 . 50 : 325 - 328 .
- 3 . 病虫肥料部（1996）. リンゴ黒星病防除における感染予察機（メトス - D）の活用法 . 平成 8 年度指導奨励事項・指導参考資料 : 84 - 85 .